



平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 エムスリー株式会社
コード番号 2413 URL <http://corporate.m3.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 永田 朋之

TEL 03-5408-0800

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	8,173	29.7	3,308	13.6	3,366	12.2	1,905	14.3
21年3月期第3四半期	6,299	—	2,912	—	3,001	—	1,667	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	7,282.40	7,201.17
21年3月期第3四半期	6,386.89	6,302.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	13,822	11,223	78.5	41,480.66
21年3月期	12,542	10,214	80.0	38,331.94

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 10,855百万円 21年3月期 10,030百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	3,300.00	3,300.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 現時点において、平成22年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	34.7	4,800	20.3	4,800	15.1	2,700	14.2	10,317.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注) 1株当たり予想当期純利益については、平成22年3月期第3四半期連結累計期間の期中平均株式数261,683株に基づいて算出しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名 メビックス株式会社) 除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 261,696株 21年3月期 261,666株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 0株 21年3月期 0株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 261,683株 21年3月期第3四半期 261,108株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、当社独自のブランド確立を図るため、平成22年1月1日をもって、商号をソネット・エムスリー株式会社からエムスリー株式会社に変更いたしました。

当期においても医療従事者専門サイト「m3.com」の基盤強化を進め、医師会員は、当第3四半期連結累計期間において9千人増加の18.3万人に達しました。

既存サービスについては、顧客への各サービスの浸透も進み、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」などの一般企業向けマーケティング支援サービス、会員医師への求人求職支援サービスを行う「m3.com CAREER」、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」

(<http://www.AskDoctors.jp/>)、女性のための健康管理・美容促進サポートサイト「AskMoon女性の医学」

(<http://askmn.jp/>)、看護師、薬剤師向けの求人求職支援サービス、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等の新規サービスの拡充も進めています。

米国においては、「MR君」の米国版である「M3 Messages」サービスの展開が順調に進み、これまで「がん」「リウマチ」「神経科」「循環器」「PCP」等の領域で、8社21薬剤の契約を獲得し、うち5薬剤で既にサービス提供中です。

また、IT活用による大規模臨床研究支援活動を行うメビックス株式会社(以下「メビックス」という)については、公開買付け実施とその後の一連のプロセスにより、現在は、当社が全ての議決権を有する完全子会社となっています。なお、当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)においては、平成21年5月～10月のメビックスの連結経営成績及びキャッシュ・フローの状況を反映しています。

なお、総合的な医師・薬剤師向け人材サービスを展開するため、平成21年12月28日付で、当社の医師・薬剤師を対象とした求人広告事業及び株式会社エス・エム・エスの医師・薬剤師を対象とした人材紹介事業を、共同で新設するエムスリーキャリア株式会社に承継させる会社分割を実施しました。なお、エムスリーキャリア株式会社に対する当社の持分比率は51.0%であり、同社は当社の連結子会社に該当します。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

(当期の業績)

(単位：百万円)

	平成21年3月期 第3四半期累計 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	平成22年3月期 第3四半期累計 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
	売上高	6,299	8,173	+1,873	+29.7%
営業利益	2,912	3,308	+396	+13.6%	3,990
経常利益	3,001	3,366	+364	+12.2%	4,170
四半期(当期)純利益	1,667	1,905	+238	+14.3%	2,363

（事業の種類別セグメントの業績）

（単位：百万円）

		平成21年3月期 第3四半期累計 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	平成22年3月期 第3四半期累計 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	比較増減		(参考) 平成21年3月期 (自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日)
医療 ポータル	医療関連会社マーケティング支援	4,322	4,912	+590	+13.7%	5,812
	調査	765	988	+222	+29.1%	1,052
	その他	1,211	1,483	+272	+22.5%	1,669
	セグメント間の内部 売上高	—	2	+2	—	—
	セグメント売上高	6,299	7,387	+1,087	+17.3%	8,534
	営業利益	2,912	3,925	+1,012	+34.8%	3,990
エビデンス ソリューション	セグメント売上高	—	788	—	—	—
	営業利益	—	△312	—	—	—

（注）1 第1四半期連結会計期間より、メビックスを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来のインターネットを利用した医療関連事業を「医療ポータル」セグメントとし、メビックスの連結化に伴い新たに加わる大規模臨床研究支援事業等を「エビデンスソリューション」セグメントとしました。なお、前第3四半期連結累計期間においては単一セグメントであったため、当期の配賦不能営業費用にあたる280百万円が前期の医療ポータルセグメントの営業費用に含まれております。これを勘案した実質的な当第3四半期連結累計期間の医療ポータルセグメントの営業利益は前年同期比22.9%増になります。

2 医療ポータルセグメントにおいて、第1四半期連結会計期間より、従来「マーケティング支援」分野に区分していたQOL君サービス及び一部の提携企業サービスを「その他」分野に区分することとし、従来の「マーケティング支援」分野を「医療関連会社マーケティング支援」分野に変更しています。これに伴い、当第3四半期連結累計期間の「医療関連会社マーケティング支援」分野の売上高は155百万円減少し、「その他」分野の売上高は155百万円増加しています。また前第3四半期連結累計期間の「医療関連会社マーケティング支援」分野に含まれていた売上高148百万円については、「その他」に組み替えて表示しています。

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は4,912百万円（前年同期比13.7%増）となりました。国内において、顧客企業数の増加とeディテール（会員向けに配信したメッセージ）量が伸びたこと等により、「MR君」サービスの売上高が前年同期比11.9%増となった他、「m3MT」サービスが順調に推移しました。また、米国事業が着実に拡大し、全体としては前年同期比13.7%の増収となりました。

調査分野の売上高は988百万円（前年同期比29.1%増）となりました。提携企業との連携強化等の要因により、調査サービスを展開する日本、米国の両市場において好調に推移しました。

その他分野の売上高は、1,483百万円（前年同期比22.5%増）となりました。会員の増加が続く「AskDoctors」や「m3.com CAREER」が好調に推移した他、アイチケット株式会社も増収に貢献しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、7,387百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

エビデンスソリューションセグメントは、既存の大規模臨床試験の契約に伴う収益が中心となり、売上高は788百万円となりました。

以上の結果、売上高は8,173百万円（前年同期比29.7%増）となりました。

売上原価については、メビックスの新規連結による影響（656百万円増加）等の要因により、2,300百万円（前年同期比61.3%増）となりました。

販売費及び一般管理費については、メビックスの新規連結による影響（391百万円増加）の他、医療ポータルセグメントにおける業容拡大に伴う人件費や会員向けポイント関連費用の増加等の要因により、2,563百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

これらの結果、営業利益は3,308百万円（前年同期比13.6%増）、経常利益は3,366百万円（同12.2%増）、四半期純利益は1,905百万円（同14.3%増）となりました。

また、医療ポータルセグメントは営業利益3,925百万円、エビデンスソリューションセグメントは営業損失312百万円を計上しました。

（所在地別セグメントの業績）

(1) 日本

国内は、医療関連会社マーケティング支援分野、調査分野、その他分野とも好調に推移したほか、メビックスの新規連結の影響により、売上高7,443百万円（前年同期比29.9%増）、営業利益3,668百万円（同12.7%増）となりました。

(2) 北米

北米は、調査サービスが拡大した他、医療関連会社マーケティング支援分野も着実に拡大し、売上高737百万円（前年同期比39.0%増）となりました。また、「M3 Messages」の先行費用が発生していることから、営業損失52百万円（同19百万円悪化）となりました。

(3) その他の地域

その他の地域は、韓国子会社の業績が引き続き低調に推移したことから、売上高62百万円（前年同期比4.9%減）、営業損失0.9百万円（同2百万円改善）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

資産合計は、前連結会計年度末比1,280百万円増の13,822百万円となりました。メビックス株式会社（以下「メビックス」という）に対する公開買付けの実施等により現金及び預金が1,538百万円減少し、メビックスの新規連結の影響等により売掛金が1,072百万円増加したものの、流動資産は前連結会計年度末比103百万円減の9,985百万円となりました。またメビックスの子会社化に伴いのれんを1,138百万円計上したこと、エムスリーキャリア株式会社ののれんを100百万円計上したことを主な要因に、固定資産は前連結会計年度末比1,383百万円増の3,837百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比271百万円増の2,599百万円となりました。メビックスの新規連結の影響等で買掛金が440百万円増加したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比291百万円増の2,302百万円となりました。固定負債は、米国SmartestDoc事業の買収に伴う将来債務の公正価値を計上した一方で、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が158百万円減少したことを主な要因に、前連結会計年度末比19百万円減の296百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比1,008百万円増の11,223百万円となりました。剰余金配当863百万円を行った一方、四半期純利益1,905百万円を計上したことにより利益剰余金が1,042百万円増加したことが主な要因です。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より1,615百万円減少し、6,385百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,624百万円の収入（前年同期比755百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,438百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額1,809百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,451百万円の支出（前年同期比2,250百万円の支出増）となりました。メビックスの子会社化における、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,653百万円及びメビックスの完全子会社化における、子会社株式の取得による支出416百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、836百万円の支出（前年同期比71百万円の支出増）となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払859百万円です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

医療関連会社マーケティング支援分野においては、引き続き「MR君」サービスの利用顧客数及び利用量の増加を中心とした国内事業の継続的な拡大と、米国を中心とした海外事業の成長を見込んでいます。

調査分野においては、製薬企業を中心とした旺盛な需要を背景に、調査サービスの継続的な成長を見込んでいます。

その他分野においては、「AskDoctors」サービスの会員増加をはじめ、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、更なる成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

また、米国「M3 Messages」サービス拡大のための費用の発生も、引き続き見込んでいます。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

なお、新たに連結子会社となったメビックス株式会社については、平成21年5月から平成22年1月の9ヶ月分の業績を、当期の当社グループ業績見通しの対象に含んでおります。

これらを踏まえ、平成22年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

(単位 百万円)

	平成21年3月期 実績	平成22年3月期 業績予想	差異
売上高	8,534	11,500	+2,966
営業利益	3,990	4,800	+810
経常利益	4,170	4,800	+630
当期純利益	2,363	2,700	+337

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

平成21年3月3日から平成21年4月14日まで、IT活用による大規模臨床研究支援活動を行うメビックス株式会社に対して公開買付けを実施した結果、メビックス株式会社は、平成21年4月21日に当社が株式の85.9%を所有する特定子会社になりました。なお、平成21年9月1日付で、株式追加取得により、当社の持株比率は100%になりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,652,429	8,191,260
売掛金	2,521,456	1,449,350
商品	4,264	2,025
仕掛品	148,897	41,505
その他	664,325	405,586
貸倒引当金	△5,777	△781
流動資産合計	9,985,596	10,088,948
固定資産		
有形固定資産	※1 165,053	※1 65,988
無形固定資産		
のれん	2,070,250	783,665
その他	300,214	195,557
無形固定資産合計	2,370,465	979,223
投資その他の資産		
投資有価証券	867,877	1,173,613
その他	433,830	234,808
投資その他の資産合計	1,301,708	1,408,422
固定資産合計	3,837,227	2,453,634
資産合計	13,822,824	12,542,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	551,552	110,967
未払法人税等	678,239	934,442
ポイント引当金	427,587	314,961
その他の引当金	41,489	47,648
その他	603,706	603,085
流動負債合計	2,302,574	2,011,105
固定負債		
退職給付引当金	7,860	4,426
繰延税金負債	153,116	311,137
その他	135,776	1,085
固定負債合計	296,754	316,650
負債合計	2,599,329	2,327,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,190,170	1,187,576
資本剰余金	1,418,565	1,415,971
利益剰余金	8,059,179	7,016,995
株主資本合計	10,667,914	9,620,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	263,367	497,481
為替換算調整勘定	△75,960	△87,859
評価・換算差額等合計	187,407	409,622
新株予約権	31,240	12,901
少数株主持分	336,932	171,759
純資産合計	11,223,494	10,214,827
負債純資産合計	13,822,824	12,542,583

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	6,299,681	8,173,143
売上原価	1,426,715	2,300,840
売上総利益	4,872,966	5,872,302
販売費及び一般管理費	※1 1,960,258	※1 2,563,472
営業利益	2,912,707	3,308,830
営業外収益		
受取利息	39,328	—
投資有価証券売却益	75,576	57,169
その他	10,642	28,671
営業外収益合計	125,548	85,841
営業外費用		
為替差損	30,686	22,386
その他	6,241	6,058
営業外費用合計	36,927	28,444
経常利益	3,001,327	3,366,226
特別利益		
持分変動利益	24,304	99,972
特別利益合計	24,304	99,972
特別損失		
持分変動損失	—	6,294
投資有価証券評価損	123,373	—
減損損失	12,309	—
固定資産除却損	—	18,288
事務所移転費用	—	3,274
特別損失合計	135,682	27,857
税金等調整前四半期純利益	2,889,949	3,438,342
法人税、住民税及び事業税	1,239,745	1,545,102
法人税等調整額	△37,749	△15,693
法人税等合計	1,201,995	1,529,409
少数株主利益	20,284	3,251
四半期純利益	1,667,669	1,905,681

(第3四半期連結会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	2,204,840	3,171,319
売上原価	480,570	954,654
売上総利益	1,724,269	2,216,665
販売費及び一般管理費	※1 670,322	※1 985,330
営業利益	1,053,947	1,231,335
営業外収益		
受取利息	14,217	—
投資有価証券売却益	—	50,943
その他	2,292	26,535
営業外収益合計	16,510	77,478
営業外費用		
為替差損	39,510	—
その他	31	1,316
営業外費用合計	39,541	1,316
経常利益	1,030,915	1,307,496
特別利益		
持分変動利益	24,304	79,978
特別利益合計	24,304	79,978
特別損失		
持分変動損失	—	863
投資有価証券評価損	123,373	—
固定資産除却損	—	18,288
事務所移転費用	—	3,274
特別損失合計	123,373	22,426
税金等調整前四半期純利益	931,846	1,365,049
法人税、住民税及び事業税	398,003	588,902
法人税等調整額	△81,374	54,325
法人税等合計	316,629	643,227
少数株主利益	10,582	4,062
四半期純利益	604,634	717,759

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,889,949	3,438,342
減価償却費	55,520	93,082
減損損失	12,309	—
のれん償却額	49,951	93,174
投資有価証券評価損益(△は益)	123,373	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△75,576	△57,169
固定資産除却損	—	18,510
投資事業組合運用損益(△は益)	1,878	1,723
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△551	5,048
ポイント引当金の増減額(△は減少)	59,872	112,925
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,497	2,832
その他の引当金の増減額(△は減少)	△23,560	△5,327
受取利息及び受取配当金	△44,967	△17,726
為替差損益(△は益)	30,686	22,386
持分法による投資損益(△は益)	4,169	△4,545
持分変動損益(△は益)	△24,304	△93,678
売上債権の増減額(△は増加)	△87,894	△65,015
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,182	△29,250
前受金の増減額(△は減少)	△233,396	△164,125
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△4,416	101,291
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,648	47,199
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△21,710	△105,857
その他	△1,563	22,161
小計	2,675,802	3,415,980
利息及び配当金の受取額	44,967	17,825
法人税等の支払額	△1,851,537	△1,809,070
営業活動によるキャッシュ・フロー	869,232	1,624,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,810	△60,169
定期預金の払戻による収入	—	4,662
有形固定資産の取得による支出	△13,592	△40,309
無形固定資産の取得による支出	△67,430	△83,790
敷金及び保証金の差入による支出	△6,765	△79,626
敷金及び保証金の回収による収入	289	86,556
投資有価証券の取得による支出	△68,191	△125,000
投資有価証券の売却による収入	110,476	27,495
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△88,466	△1,653,964
子会社株式の取得による支出	—	△416,290
貸付けによる支出	△37,187	△112,579
その他	—	1,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	△201,679	△2,451,785
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	18,347	5,188
配当金の支払額	△782,784	△859,041
少数株主からの払込みによる収入	—	32,250
少数株主への配当金の支払額	—	△14,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△764,436	△836,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78,337	47,359
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,219	△1,615,993

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の期首残高	6,778,327	8,001,977
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△19,857	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 6,583,250	※1 6,385,984

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

当社グループは、インターネットを利用した医療関連事業に特化しているため1つのセグメントしかありませんので、記載を省略しています。

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,794,050	377,269	3,171,319	—	3,171,319
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	2,469	—	2,469	(2,469)	—
計	2,796,519	377,269	3,173,789	(2,469)	3,171,319
営業利益（△損失）	1,485,154	△152,727	1,332,427	(101,092)	1,231,335

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当社グループは、インターネットを利用した医療関連事業に特化しているため1つのセグメントしかありませんので、記載を省略しています。

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	医療ポータル (千円)	エビデンス ソリューション (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,384,997	788,145	8,173,143	—	8,173,143
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	2,469	—	2,469	(2,469)	—
計	7,387,466	788,145	8,175,612	(2,469)	8,173,143
営業利益（△損失）	3,925,036	△312,589	3,612,446	(303,616)	3,308,830

(注) 1 事業区分の方法

事業は、事業の製造方法及び製造過程の類似性を考慮して区分しています。

2 各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
医療ポータル	MR君等の医療関連会社向けマーケティング支援、調査、AskDoctors等の コンシューマ向けサービス、QOL君・開業経営サービス等の非製薬会社向 けマーケティング支援等
エビデンスソリューション	CapToolを活用した臨床研究支援等の臨床研究等に関連する事業等

3 事業区分の方法の変更

当社グループは、従来、インターネットを利用した医療関連事業に特化しており1つのセグメントしかありませんでしたが、第1四半期連結会計期間より大規模臨床研究支援事業を営むメビックス株式会社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来のインターネットを利用した医療関連事業を「医療ポータル」セグメントとし、メビックス株式会社の連結化に伴い新たに加わる大規模臨床研究支援事業等を「エビデンスソリューション」セグメントとしました。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結会計期間（自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,985,581	198,986	20,273	2,204,840	—	2,204,840
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	9,423	—	—	9,423	(9,423)	—
計	1,995,004	198,986	20,273	2,214,263	(9,423)	2,204,840
営業利益	1,173,029	10,042	594	1,183,666	(129,719)	1,053,947

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,819,974	326,023	25,322	3,171,319	—	3,171,319
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	24,952	—	—	24,952	(24,952)	—
計	2,844,926	326,023	25,322	3,196,272	(24,952)	3,171,319
営業利益（△損失）	1,336,842	△7,639	4,934	1,334,137	(102,802)	1,231,335

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,703,654	530,695	65,332	6,299,681	—	6,299,681
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	26,390	—	—	26,390	(26,390)	—
計	5,730,045	530,695	65,332	6,326,072	(26,390)	6,299,681
営業利益（△損失）	3,255,553	△33,019	△3,229	3,219,305	(306,597)	2,912,707

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,375,105	737,703	60,334	8,173,143	—	8,173,143
(2) セグメント間の内部売上高 または振替高	68,463	—	1,782	70,245	(70,245)	—
計	7,443,568	737,703	62,116	8,243,388	(70,245)	8,173,143
営業利益（△損失）	3,668,901	△52,153	△944	3,615,803	(306,973)	3,308,830

（注）1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 日本以外の区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

[海外売上高]

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	198,986	20,273	219,259
II 連結売上高(千円)			2,204,840
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.0	0.9	9.9

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	326,023	25,322	351,345
II 連結売上高(千円)			3,171,319
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	10.3	0.8	11.1

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	530,695	65,332	596,027
II 連結売上高(千円)			6,299,681
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.4	1.0	9.4

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	737,703	60,334	798,037
II 連結売上高(千円)			8,173,143
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	9.0	0.8	9.8

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しています。

2 各区分に属する主な国または地域は次のとおりです。

北米：米国

その他の地域：韓国

3 海外売上高は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より、メビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社、クリノグラフィ株式会社及びケルコム株式会社については新たに株式を取得したことから、連結の範囲に含めています。また、当第3四半期連結会計期間より、エムスリーキャリア株式会社を会社分割により設立したことから、連結の範囲に含めています。 (2) 変更後の連結子会社の数 10社
2 連結子会社の四半期決算日等に関する事項の変更	第1四半期連結会計期間より連結子会社としたメビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社及びケルコム株式会社の第3四半期決算日は1月31日であり、クリノグラフィ株式会社の第3四半期決算日は12月31日です。四半期連結財務諸表作成に当たって、メビックス株式会社、クリニカルポーター株式会社及びケルコム株式会社については10月31日現在の財務諸表を使用し、クリノグラフィ株式会社については9月30日現在の財務諸表を使用しています。ただし、四半期連結決算日（12月31日）までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っています。 また、M3 USA Corporation (旧 So-net M3 USA Corporation) は決算日を3月31日から12月31日に、アイチケット株式会社は決算日を5月31日から3月31日に変更しました。四半期連結財務諸表作成に当たって、当該会社については、四半期連結決算日（12月31日）現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しています。

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
(四半期連結損益計算書)	前第3四半期連結累計期間において独立掲記しておりました営業外収益の「受取利息」は、当第3四半期連結累計期間において金額的重要性が乏しくなったため、営業外収益の「その他」に含めて表示しています。 なお、当第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれている「受取利息」は、15,597千円です。
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)	前第3四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「固定資産除却損」は、当第3四半期連結累計期間において金額的重要性が増したため、区分掲記しています。 なお、前第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「固定資産除却損」は、10千円です。
	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
(四半期連結損益計算書)	前第3四半期連結会計期間において独立掲記しておりました営業外収益の「受取利息」は、当第3四半期連結会計期間において金額的重要性が乏しくなったため、営業外収益の「その他」に含めて表示しています。 なお、当第3四半期連結会計期間の営業外収益の「その他」に含まれている「受取利息」は、4,891千円です。

【注記事項】

（四半期連結貸借対照表関係）

当第3四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末 （平成21年3月31日）
※1 有形固定資産の減価償却累計額は、221,982千円です。	※1 有形固定資産の減価償却累計額は、132,176千円です。

（四半期連結損益計算書関係）

前第3四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
報酬・給与 604,635千円	報酬・給与 808,225千円
販売促進費 452,807千円	販売促進費 512,881千円
ポイント引当金繰入額 59,872千円	ポイント引当金繰入額 112,934千円
賞与引当金繰入額 11,739千円	賞与引当金繰入額 20,626千円

前第3四半期連結会計期間 （自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日）	当第3四半期連結会計期間 （自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
報酬・給与 192,643千円	報酬・給与 308,329千円
販売促進費 143,286千円	販売促進費 205,359千円
ポイント引当金繰入額 29,960千円	ポイント引当金繰入額 57,866千円
賞与引当金繰入額 9,960千円	

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前第3四半期連結累計期間 （自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 （平成20年12月31日現在）	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 （平成21年12月31日現在）
現金及び預金勘定 6,809,569千円	現金及び預金勘定 6,652,429千円
預入期間3ヶ月超の定期預金 Δ 226,319千円	預入期間3ヶ月超の定期預金 Δ 266,445千円
現金及び現金同等物 6,583,250千円	現金及び現金同等物 6,385,984千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

1 発行済株式の種類及び総数

普通株式 261,696株

2 新株予約権等に関する事項

ストック・オプションとしての新株予約権

新株予約権の四半期連結会計期間末残高 親会社 31,240千円

(注) スtock・オプションとしての新株予約権の一部は、権利行使期間の初日が到来していません。

3 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年4月23日 取締役会	普通株式	863,497	3,300	平成21年3月31日	平成21年6月8日	利益剰余金

（企業結合等関係）

当第3四半期連結会計期間（自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日）

1 パーチェス法の適用

当社の医師及び薬剤師を対象とした求人広告事業と、株式会社エス・エム・エスの医師及び薬剤師を対象とした人材紹介事業を、共同で新設したエムスリーキャリア株式会社に承継させる会社分割を行い、当該企業結合について以下の通りパーチェス法を適用しました。

(1) 企業結合の概要

相手企業の名称	株式会社エス・エム・エス
取得した事業の内容	医師及び薬剤師を対象とした人材紹介事業
企業結合を行った主な理由	求職者である医師及び薬剤師と、求人者である医療機関や法人とのベストマッチを高い水準で効率よく実現させるプラットフォームを作り、総合的なサービスを開発提供するため。
企業結合日	平成21年12月28日
企業結合の法的形式	会社分割（共同新設分割）
結合後企業の名称	エムスリーキャリア株式会社
取得した議決権比率	51.0%

(2) 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる取得した事業の業績の期間

平成21年12月31日をみなし取得日としており、四半期連結損益計算書に被取得事業の業績は含まれておりません。

(3) 取得した事業の取得原価及びその内訳

取得した事業の取得原価 235,028千円

結合企業が設立時に相手企業に対して割り当てた普通株式490株の評価額です。

なお、当社と株式会社エス・エム・エスに対する割当比率は51：49であり、比率及び割当株式の評価額は、当該事業の利益額、類似企業比較法により算出した事業価値、当該事業に関連する資産額、その他諸般の事情を総合的に勘案した上で、両社が交渉・協議を行い算定しました。

(4) 発生したのれんの金額等

のれん金額 100,577千円

発生原因 人材紹介事業の今後の事業展開によって期待される将来の収益力に関連して発生したもの

償却方法及び償却期間 のれん金額については、5年間で均等償却しています。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	33,076千円
固定資産	17,016千円
資産計	<u>50,092千円</u>
流動負債	<u>12,274千円</u>
負債計	<u>12,274千円</u>

（注）上記は全て株式会社エス・エム・エスより受け入れた資産及び引き受けた負債です。

(6) 当該企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定したときの当第3四半期連結累計期間の売上高等の概算額

売上高等に及ぼす影響の概算額は軽微であるため記載を省略しています。

（1株当たり情報）

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末 （平成21年3月31日）
1株当たり純資産額 41,480.66円	1株当たり純資産額 38,331.94円

（注）1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第3四半期連結会計期間末 （平成21年12月31日）	前連結会計年度末 （平成21年3月31日）
純資産の部の合計額（千円）	11,223,494	10,214,827
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	368,172	184,661
（うち新株予約権）	(31,240)	(12,901)
（うち少数株主持分）	(336,932)	(171,759)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額（千円）	10,855,321	10,030,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数（株）	261,696	261,666

2 1株当たり四半期純利益金額等

前第3四半期連結累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）
1株当たり四半期純利益金額 6,386.89円	1株当たり四半期純利益金額 7,282.40円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 6,302.58円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 7,201.17円

（注）1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 （自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益（千円）	1,667,669	1,905,681
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る四半期純利益（千円）	1,667,669	1,905,681
期中平均株式数（株）	261,108	261,683
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	3,493	2,952
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	2,314.21円	1株当たり四半期純利益金額	2,742.74円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,284.91円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,711.48円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	604,634	717,759
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	604,634	717,759
期中平均株式数(株)	261,270	261,694
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,350	3,017
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。